

～採用から退職までの労働法のポイントを1日で理解する～

# 労働法の基本と 労務問題の実務対応

**日時** 2024年5月14日(火)10:00～16:30 (受付開始9:30)

**会場** ホテルブエナビスタ(松本市) ※裏面参照 **定員** 48名

**講師** 内幸町国際総合法律事務所 代表パートナー弁護士 **千葉 博 氏**  
ちば ひろし

雇用環境や労働者の意識が大きく変わる中、人事労務管理をめぐる問題はますます増加、かつ複雑化しています。人事担当者としては、関連する労働法を広く押さえているか否かで、実務での対応の良し悪しが大きく左右されます。

本セミナーでは、最新の法改正や今日的な労働問題の実例も踏まえながら、採用から退職に至るまでの労働関連法律を実務の視点でひも解いていきます。

初心者の方にもわかりやすく解説を進めていく、人事担当者の方に絶対おすすめセミナーです。

## カリキュラム

<p><b>1. 労働基準法とは</b></p> <p>(1) 労基法の位置づけ－憲法・民法・判例法理との関係</p> <p>(2) 監督行政機関である労働基準監督署の動向</p> <p><b>2. 労働契約の締結における注意点</b> －募集・採用・内定・試用の法律実務</p> <p>(1) 募集～採用～選考～試用の実務の全体像</p> <p>(2) 労働契約の内容はどのように決定されるか</p> <p>(3) 労働契約の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間の定めある契約の特徴</li> <li>・期間の定めなき契約の特徴</li> <li>・労働契約法改正の影響</li> </ul> <p>(4) 労働条件の明示</p> <p>(5) 採用内定の法的性質と内定取消のトラブル防止</p> <p>(6) 試用期間の法的性質と本採用拒否の可否</p> <p>(7) 身元保証の効力</p> <p><b>3. 賃金・賞与・退職金</b></p> <p>(1) 労働条件を決定するものは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－労働契約・就業規則・労働協約・労使慣行</li> </ul> <p>(2) 賃金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金とは ・賃金に関する諸規定</li> <li>・賃金債権の時効 ・休業手当</li> </ul> <p>(3) 賃金引下げと労働条件不利益変更</p> <p>(4) 賞与に関する諸問題</p>	<p>(5) 退職金に関する諸問題</p> <p><b>4. 労働時間、休日・休暇、年次有給休暇</b></p> <p>(1) 労働時間の意味と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間の意味・労務管理の必要性</li> <li>・労働時間に関する労働基準法の規制</li> <li>・変形労働時間制等と労働時間みなし制</li> <li>・フレックスタイム ・時間外労働</li> </ul> <p>(2) 休日・休暇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日と休暇の違い ・休日労働</li> <li>・代休と振替休日</li> </ul> <p>(3) 年次有給休暇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年次有給休暇の法的性質</li> <li>・年次有給休暇付与の方法</li> <li>・計画年次有給休暇制度</li> <li>・年次有給休暇の繰越 ・買上げ</li> </ul> <p><b>5. 労働契約の変更・解消</b></p> <p>(1) 労働契約の終了事由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－退職、解雇、雇い止め、定年</li> </ul> <p>(2) 退職をめぐる問題</p> <p>(3) 解雇をめぐる問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解雇の種類 ・解雇権濫用法理</li> <li>・解雇の手続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退職勧奨と解雇の限界</li> <li>－不当解雇といわれないために</li> <li>・整理解雇の特殊性</li> </ul> <p>(4) 雇い止めをめぐる問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間を定めた契約労働者に関する規制</li> <li>・雇い止めのトラブル防止策</li> </ul> <p>(5) 定年をめぐる問題</p> <p><b>6. 人事と懲戒の実務</b></p> <p>(1) 人事異動の方法</p> <p>(2) 配置転換の規制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置転換の意義 ・配転命令の適法性</li> </ul> <p>(3) 出向の規制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出向の意義 ・出向命令の適法性</li> <li>・復帰命令の適法性</li> </ul> <p>(4) 転籍の規制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転籍の意義 ・転籍命令の可否</li> </ul> <p>(5) 懲戒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懲戒とは ・懲戒の要件</li> <li>・いかなる場合に懲戒ができるか</li> <li>・飲酒運転に対する懲戒</li> </ul>
--	---	--

※講義中の録音・撮影、携帯電話やパソコンなどの使用はご遠慮願います



# 講師

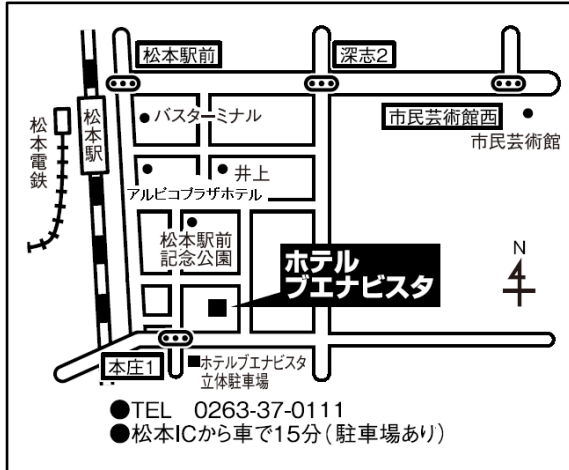
内幸町国際総合法律事務所  
代表パートナー弁護士

ちば ひろし  
千葉博氏

平成2年東京大学法学部卒業。平成3年司法試験に合格、弁護士登録。平成6年高江・阿部法律事務所入所、平成8年千葉総合法律事務所を開設、令和4年6月より現職。専門分野は民事・商事・保険・労働・企業法務。また、これまで関東学院大学・神奈川大学・早稲田経営学院・LEC 東京リーガルマインドの各講師、銀行系セミナー講師を精力的に務め、わかりやすい講義には定評がある。

主な著書に『従業員の自動車事故と企業対応』（清文社）『労働法実務相談シリーズ 労働時間・休日・休暇 Q&A』（労務行政）『労働法 正しいのはどっち？』（かんき出版）がある。

## ●会場ご案内



### 受講者の声

- ・事例(判例)を踏まえた具体的な話で、簡潔でわかりやすく考え方や制度が理解できた
- ・資料が社内で活用できるものだった
- ・労働法について多くの情報を知ることができた
- ・自社での早急な対応が必要な案件のヒントをいただけた

## ●申込方法

- 下記申込書にご記入の上、このままFAXにてお送りいただくか当研究所ホームページよりお申込みください。(http://www.neri.or.jp)  
※FAX 申込の場合、未読送信・機器トラブル等により、申込受付ができていないことが稀にごございます。ホームページからのお申込みをおすすめいたします。
- 開催日前月までを目途に、「請求書」をお送りいたします。  
**請求書記載の期日までに受講料をお振込みください。**
- 満席等により、お席をご用意できない場合は、電話でご連絡いたします。
- お取り消しの場合は**5月10日(金)**までにご連絡をお願いします。  
それ以降は受講料をお返しできません。
- 定員になり次第締め切らせていただきます。(満席の場合はHPにてお知らせいたします。)
- 「受講票」は発行しておりませんので、ご了承ください。

## ●受講料

マネジメント会員	19,800円
一般会員	23,100円
会員以外	28,600円
*テキスト代・昼食代・消費税込	

長野経済研究所 宛

フリーダイヤルFAX : 0120-82-6233

### 【実務セミナー】 労働法の基本と労務問題の実務対応 (5/14) 申込書

会社名	住所		〒	
申込担当者	部署名： お名前：	TEL FAX	( ) - ( ) -	業 種
e-mail (請求書送付先)	@			
受講者 ( ) 名	お名前(ふりがな)	所属職	お名前(ふりがな)	所属職

\* 個人情報は研修の運営や、研修関連情報のご提供等、研修に関する範囲で使わせていただきます。

\* 申込責任者の方は、個人情報の提供について、必ず受講者の同意を得てください。